

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2802号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

6/17

平成20年
(2008)
(火曜日)
週刊

ヤマトロジスティクスで新しいとらえ方をし
て線LANシステム「EA 百トン、コンテナ(四十
本社・東京、山内雅喜 いる。ますますアジア地
社長)とヤマトパッキン 区での荷物が増える。お 情
グサービス(本社・東京、 資さまの事業拡大を物流 細
江頭哲也社長)は四日、 面からサポートしていき も行
京葉主管支店のしゅん工 たい」とあいさつ。 作業の自動化により高
式を開催し 中。ヤマトホールディ
た。 グスのB i
z-ロジ事
業(法人向
け貨物取扱
サービス事
業)の一環。
ヤマトロジ

京葉主管支店しゅん工

ヤマトロジ・ヤマトパッキング

通関・梱包1カ所に集約

江頭ヤマトパッキング 効率を実現。搬送・検査が中核を担う。同支店の
社長は「輸出プロセス全 の自動化装置を導入した 運用はヤマトパッキン
体で貢献するため、梱包 ほか、コンテナ自動昇降 が担当。
しながら通関ができる仕 装置を設置。
組みを作った」と説明。 リードタイムを三日、 京都大田区に新拠点「京
受注から船積みまでの 輸出コストを二〇%削減 浜島センター」をしゅん
業務を一方所に集約。無 減。月間取扱量は三十六 工する予定。



披露パーティで幹部が鏡割り(左から、有
富慶二ヤマトHD会長、小川悦男ヤマトロ
ジ会長、山内雅喜ヤマトロジ社長、江頭哲
也ヤマトパッキング社長)